2015年1月26日経営会議の概要

日時　：2015年1月26日（月）　　午前９時15分～午前１１時５分 会場　：政策会議室	
委員・幹事：市長、髙橋副市長、政策経営部長、総務部長、財務部長、経営改革室長、広報担当部長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、秘書課長、広報課長、総務課長、法制課長、職員課長、財政課長 説明：議題１　地域福祉部長、障がい福祉課長 　　　議題２　環境資源部長、環境資源部循環型施設建設担当部長、環境政策課長、循環型施設整備課長	

議題１：町田市障がい福祉事業計画（第４期計画）（案）の策定について（地域福祉部）

【付議の目的】
〇町田市障がい福祉事業計画（第４期計画）（案）について、承認を受ける。

【提案の概要】
町田市では、障害者基本法に基づく「第４次町田市障がい者計画（2011～2015 年度）」を策定し、《命の価値に優劣はない》という基本理念のもとに、障がい者施策の総合的な展開を図っている。

この「第４次町田市障がい者計画」を具現化する事業計画として、障害者総合支援法に基づく「町田市障がい福祉事業計画（第３期計画）」を策定し、具体的な施策と成果指標を明示して進めているが、２０１４年度で終了する。

そこで、2015年度から2017年度までを計画期間とする「町田市障がい福祉事業計画（第４期計画）」を策定する。

「町田市障がい福祉事業計画（第４期計画）」では、「障がいのある人の権利擁護の視点」、「計画における対象者の拡大」、「児童施策との連携」、「PDCA サイクルを導入した計画の推進」、「第３期計画からの継続性」の５つの特徴を掲げ、障がいのある人それぞれのライフステージに即した、よりよい地域生活を支援するために必要な施策の推進を図る。

【主な意見】
〇指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】
提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

議題２：町田市ごみの資源化施設における整備・運営手法について（環境資源部）

【付議の目的】
○ごみの資源化施設における整備・運営手法について承認を受ける。

【提案の概要】
町田リサイクル文化センターの老朽化やごみの資源化促進のため、新たな「ごみの資源化施設」の整備が課題となった。そこで、2013 年４月に「町田市資源循環型施設整備基本計画」を策定し、2020 年度稼動を目指して、新たな「ごみの資源化施設」として、現在の町田リサイクル文化センター敷地内に熱回収施設等、相原地区・上小山田地区にそれぞれ資源ごみ処理施設を整備することとした。
そこで、「ごみの資源化施設」それぞれの整備・運営手法として、従来方式（公設公営）、DBO 方式（公設民営）、BTO 方式（民設民営）の３つの事業方式について、定量的評価及び定性的評価の結果を踏まえ、施設ごとに総合的に評価を行った。その結果、熱回収施設等は DBO 方式（公設民営）、資源ごみ処理施設は従来方式（公設公営）が総合的に最も高い評価となった。

【主な意見】
○資料について、要点をわかりやすく整理すること。
○指摘された文言の整理をすること。

【会議結果】
提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。